

TOMODACHI
イニシアチブ
活動報告書



TOMO
DACHI



20
17

次世代の グローバルリーダー育成を 目指して

親愛なる友人の皆さん、

TOMODACHIイニシアチブへのご支援に感謝申し上げます。2017年、TOMODACHIイニシアチブは、日米間の人と人とのつながりの拡大を継続し、TOMODACHIアラムナイとの関係も新たな局面を迎えるました。TOMODACHIは昨年も引き続き、日米両国の地域社会による影響を与える、新しい、多様な意見を持つ人々の育成を支援できたことを誇りに思います。これはスポンサーやパートナーの皆さまの寛大なるご支援がなければ、実現し得ませんでした。

2011年3月の東日本大震災の発生を受け、ジョン・ルース元駐日米国大使のリーダーシップの下、在日米国大使館と米日カウンシルが、被災地の若者に希望を与えるためにTOMODACHIイニシアチブを発足させました。初年度には数百名の東北の若者にアメリカを経験する機会を提供しました。以来6,700名以上の若者が、250を超えるプログラムに参加しています。今日、TOMODACHIは東北との強固なつながりを大切にしながら、その使命を発展させ、アメリカ人の若者が訪日する機会を提供し、東北のみならず、日本中の若者を支援しています。

2017年3月には、TOMODACHI世代地域フレームワークを発足させました。これによりそれぞれの地域におけるアラムナイ同士のつながりを拡大し、活力を与え、互いに、またそれぞれの地域の人々に刺激を与えることが可能となりました。この地域フレームワークは、アラムナイがTOMODACHIの経験から学んだスキルを応用して、地域社会に貢献する新しい方法を見つけるために、より大きなリーダーシップの発揮を促すことを目的としています。2018年には、新規の、または継続的なパートナーシップにより、TOMODACHI世代の広がりとその影響力が拡大され、教育、文化交流、リーダーシップ・プログラムを通じて、日米における若者のリーダーを育成するミッションを強化し、促進してまいります。

若いリーダーらが夢を実現する機会を提供していただいている、ファウンダー、スポンサー、実施運営団体、アドバイザーや支援者の皆さまのビジョンと多大なるご支援に、心より感謝申し上げます。米日カウンシルと在日米国大使館は、日本国政府をはじめとした多くのパートナーの皆さまと一緒に、日米の若者に生涯またとない機会を提供できることを、誇りに思っています。

日米関係の未来への皆さまのコミットメントに、心より感謝申し上げます。



駐日米国大使
ウィリアム・F・ハガティ



米日カウンシル会長
アイリーン・ヒラノ・イノウエ



「(TOMODACHIアラムナイの)皆さんが戦略的なパートナーシップやアライアンスを、真のパートナーシップへ、そして真の友情へ変革させる原動力となるのです。[中略] TOMODACHIアラムナイの皆さん、あなた方が我々のパートナーシップの新しい担い手です。これはとても重要な任務であり、皆さんがあなたが素晴らしい成果を生むことを楽しみにしています。」

—— ウィリアム・F・ハガティ 駐日米国大使



使命

TOMODACHIイニシアチブは、米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。東日本大震災後の復興支援として発足され、教育・文化交流・リーダーシップ育成などのプログラムを通して、日米の次世代リーダー育成を目指します。

背景

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIイニシアチブを開始しました。TOMODACHIは在日米国大使館と米日カウンシルが主導し、日本国政府の支援の下、日米両国の企業、組織、個人から協力を受け、運営されています。

使命

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、さらには、より協力的で繁栄した安全な世界へ貢献するために、また、そうした世界で成功を収めるために必要とされている、技術と国際的な視点を備えた日米の次世代リーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

将来

TOMODACHIイニシアチブは、革新的な官民パートナーシップの模範としての役割を今後も果たしていきます。そして、「TOMODACHI世代」を育成するアラムナイ(プログラム経験者)・プログラムなど、異文化交流を通じて日米の若手リーダーを育成する各種プログラムを企画・構築し、日米関係を支援する企業・団体とのパートナーシップを拡大していきます。

教育プログラムは、短・中・長期の留学体験を通じ、互いの文化に触れることで、日米両国の若者の交流を活性化また拡大し、彼らの人生に刺激を与えます。

文化交流プログラムは、スポーツや音楽、芸術の分野において、日米両国の若者が、相互の国の文化を学び、関心を継続していくためのきっかけを提供します。

リーダーシップ・プログラムは、次世代のリーダーとして、成功を収めるためのスキルや専門知識を得る機会を提供します。

アラムナイ・プログラムは、TOMODACHIの経験を基に実施されるプログラムです。日米の若者たちが経験、スキルや自信を身に付けることで、インスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるよう支援します。



TOMODACHIは日米の次世代リーダー育成に焦点を当て、異文化交流などの一連の体験を通じて若手リーダーの育成を支援しています。

TOMODACHIアラムナイ(プログラム経験者)ネットワーク



- » 異文化との初めての接触
» 人生の転機となる異文化体験
» 知的好奇心を満たす学びの機会
» 次世代リーダーの育成
» 次世代の若者に日米関係を紹介
» 若者の異文化体験
» 社会貢献や地域社会での活動
» 起業家精神育成プログラム
» 女性のためのメンターシッププログラム

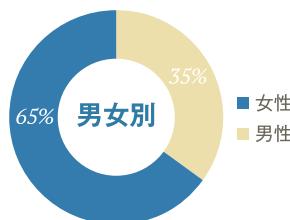
先駆的な 官民パートナーシップ



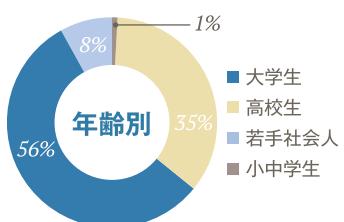
2017年は

39件のプログラムを実施、**1,073**名の若者が参加

65% 女性

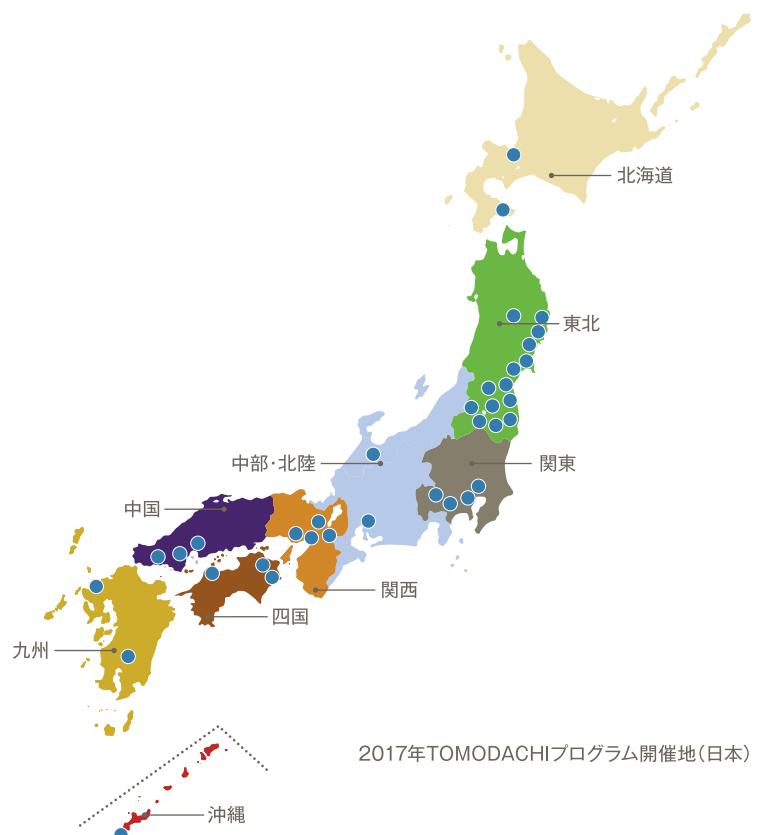


56% 大学生



発足から2017年12月までに、

39,000名以上のイベントとプログラム参加者を記録

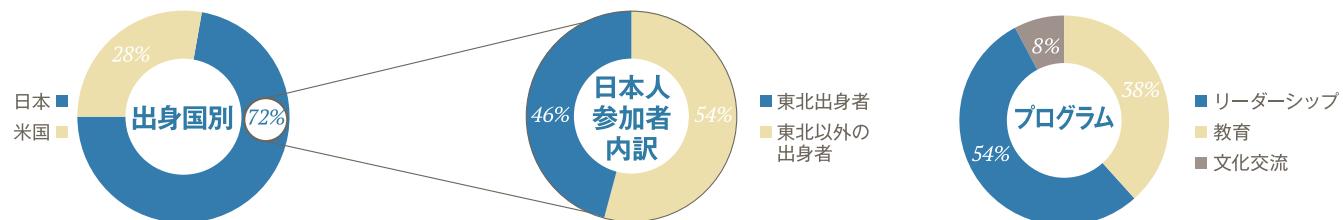




72% 日本

→ 46% 東北出身者

54% リーダーシップ



発足以来**255**件のTOMODACHIプログラムを実施

プログラム参加者は**6,700**名以上



「東日本大震災は、1900年以降の世界で4番目に大きな地震でした。[中略]TOMODACHIイニシアチブが行っている被災地訪問プログラムを大変意義深く思います。TOMODACHIイニシアチブは、被災地の人々を中心とする日本人とアメリカ人が一緒に困難に立ち向かい、知見を共有し、未来を創造することを可能にしてきました。」

—— 吉野 正芳復興大臣 米日カウンシルアニュアル・カンファレンス(2017年11月13日)



持続的な効果をもたらす パートナーシップ



TOMODACHIイニシアチブを支援するストラテジック・パートナーは、ユニークな機会を提供する個別のプログラムを通して、次世代を担う若者の人生に持続的で前向きな影響を与えています。2017年には、500名を超える中学生から若手社会人が、ストラテジック・パートナーの支援で実施された17件のプログラムに参加しました。

参加者は、短期間の交流や奨学金を含む多彩なプログラムを通して、グローバルな視点やリーダーシップ・スキルを身に付け、また、長期的な関係やネットワークを築く機会を得ることができます。プログラム終了後、参加者は「TOMODACHI世代」として、アラムナイ（プログラム経験者）向けの様々なイベントやワークショップ、プログラムに参加して交流し、お互いに刺激を与えながら成長し続けています。

「東日本大震災は私が愛する大切な人を奪いました。震災直後、私は震災が起こったことを忘れないと思っていました。[中略]しかし TOMODACHIは、震災で受けた悲しみも私の大切な一部であり、その悲しみと共に前に進むことができることを教えてくれました。」

—— 小畠 紗香、TOMODACHI MUFG国際交流プログラム



2017年ストラテジック・パートナー・プログラム

教育プログラム



TOMODACHI Honda 文化交流プログラム

2015年から実施されている本プログラムは、東日本大震災の影響を受けた東北の高校生に、米国の文化を経験する機会を提供しています。2016-2017年には、福島県から20名の高校生が2週間渡米し、カリフォルニア州ロサンゼルス市とその郊外で実施された文化交流の一環として、ボランティア活動やホームステイを経験しました。また新年の行事として有名なローズ・パレードでグラミー賞受賞ミュージシャンのダニエル・ホー氏と共に音楽演奏を行ったほか、日米文化会館で開催された親善コンサートでも演奏しました。



TOMODACHI MUFG 国際交流プログラム

6年目を迎えた本相互交流プログラムでは、南カリフォルニアの高校生20名が日本でホームステイや文化交流を体験しました。また、東京で株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ本社を訪問した後、宮城県仙台市で現地の高校生やホームステイ先の家族と交流、名取市でのボランティア活動や南三陸町の復興状況の視察のほか、広島市の平和記念館を訪れ、被爆者の方からお話を伺いました。本プログラムの締めくくりには、京都を訪問し地元の高校生と交流しました。参加者は日本との新たな友情を育み、日米関係に対する理解を深めました。



TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

2014年から実施されている大学生を対象とする1年間の奨学金プログラム。米国留学のために財政援助を必要としている学生を対象としています。2017年には、10名の日本人学生が選出され、全米各地の大学に留学しました。留学中には、米日カウンシルのアニュアル・カンファレンスへの参加や、ニューヨークに本社を置く米州住友商事にて、研修の機会を提供しています。本プログラムの目的は、日米の架け橋として活躍する、グローバルな視野を持った若手リーダーを育成することです。



TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

2013年から開始された日本のビジネスおよびファッショング業界を担う次世代リーダーを支援するプログラム。米国有数の教育機関であるニューヨーク州立ファッショング工科大学(FIT)とパーソンズ・スクール・オブ・デザインの2教育機関における留学の機会を提供します。2017年は、世界で活躍するビジネスマネージャーやファッショングデザイナーを目指す2名の大学院生が奨学金を授賞しました。

人と地域を巻き込む

リーダーシップ・プログラム



Building the TOMODACHI Generation: *Morgan Stanley Ambassadors Program*

2017年は日本人学生12名が米国人学生9名と共にワシントンD.C.で行われた2週間の集中型プログラムに参加しました。参加者は、市民社会の概念や社会問題解決にかかる可能性、日米両国で市民社会の果たす役割について学ぶ貴重な経験を得ました。日本へ帰国後は、モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社で開催された事後報告会で、東北での課題に取り組むアクション・プランを発表しました。



TOMODACHI 大和ハウス学生リーダーシップ会議

本会議は、2017年春にマサチューセッツ州ボストン市、秋にイリノイ州シカゴ市で計2回開催されました。それぞれ会議は、「過去を乗り越え、未来を図る：日米関係におけるイノベーションと貢献」と「産業・投資・異文化交流：アメリカ中西部で日米関係を担う次世代リーダーの育成」と題され、計81名の学生が参加、イノベーションや日米関係、リーダーシップやグローバルなキャリア構築のためのスキルを学びました。



TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム

2015年に設立された本プログラムは、看護を専攻する学生の災害看護に関する専門知識の深化と、各地域における次世代を担うリーダーの育成を目的としています。3年目となる2017年は、8名の岩手、宮城、福島県出身の学生が、仙台市で実施された事前研修ならびにワシントンD.C.、ニューヨークとニュージャージー州を訪問し、2週間にわたる米国研修に参加、災害看護の専門機関への視察や、災害看護に携わる学生やリーダーらと交流しました。プログラムの集大成として、参加者は事後報告会でそれぞれの学びを発表しました。



TOMODACHI ゴールドマン・サックス女性起業家支援プログラム

女性起業家のリーダーシップ向上を目指すプログラム。2017年は、ゴールドマン・サックス証券株式会社で「社会的企業・NPOの「子育てと仕事の両立」に関するシンポジウム」が実施されました。シンポジウムでは、科学技術の進歩によって以前よりも在宅勤務が容易になったことなどに触れ、働き方に柔軟性を持つことの重要性に焦点が置かれました。



「TOMODACHIプログラムに参加して、災害看護には計り知れない奥の深さがあり、この分野をさらに発展させていくためには職域や国を超えた多くの人々の力が必要だと感じました。将来災害が起きた時は被災者として、そして看護師として貢献したいという使命感が強まりました。」

—— 佐藤智行、TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム



TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program

5年目を迎えた本プログラムは、東京、大阪、福岡、那覇の4都市で開催され、10か月間にわたりメンターとメンティー計100名の女性が自己啓発、リーダーシップ研修、ファイナンシャル・エンパワーメント、ネットワーキングのスキル向上、個々の成長などに特化したワークショップに参加しました。プログラムの終盤にはワシントンD.C.とニューヨークで米国研修が実施され、影響力のある官民分野のリーダーを訪問しました。本プログラムは2013年の設立以来、438名の女性(219名の大学生と219名のメンター)に影響を与えつづけています。



TOMODACHI Microsoft iLEAP

Social Innovation and Leadership プログラム

本プログラムは、日米両国、ひいては世界にポジティブな変化をもたらすことができる日本の次世代の社会起業家や地域リーダーの育成を目的としています。2017年は、春期と夏期それぞれに実施されたプログラムを通じ、計43名の日本人学生と若手社会人がワシントン州シアトル市で、フィラソロピー、リーダーシップ、起業家精神を学ぶ研修に参加したほか、マイクロソフト本社を訪問しました。帰国後は、マイクロソフト社の社員を含む専門家たちのサポートのもと、参加者それぞれが策定したプロジェクトに磨きをかけました。



TOMODACHI-Mitsui & Co.リーダーシップ・プログラム

5年目を迎えた本プログラムは、官民両分野から9名の日本人若手リーダーと10名の米国人若手リーダーが相手国を往訪し、それぞれ1週間の視察や交流プログラムに参加しました。米国代表団は岩手県と東京都を訪れ、日本代表団はワシントンD.C.とハリケーン「ハービー」の直撃から間もないテキサス州ヒューストン市を訪問しました。プログラムのテーマ「イノベーション、起業家精神、リーダーシップ」のもと、参加者は日米関係の繁栄と、経済的な活力をもたらすための貢献について様々な議論を交わしました。



TOMODACHI ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

2012年に開始された本プログラムは、岩手、宮城、福島県の高校生100名が、カリフォルニア大学バークレー校が実施している3週間集中コースの問題解決型ワークショップ、「Y-PLAN (Youth - Plan, Learn, Act, Now!)」に参加し、地域社会の活性化について学びます。2017年は、バークレー市近郊のリッチモンド市を訪れ、同市が保有する公園をどのように活性化するかについて考察し、その後策定したアクションプランを同市の代表者の前で発表しました。同プログラムを通してリーダーシップや地域社会の問題解決への洞察力を身に付けた高校生は、東北地方で様々な活動に取り組んでいます。



人と地域を巻き込む

文化交流プログラム



TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ミュージック・アウトリーチ・プログラム

米国の非営利団体「ヤングアメリカンズ」の才能ある38名の若手アーティストが、岩手、福島県の被災地にある小中学校を訪問し、800名以上の児童生徒と教員を対象に、歌とダンスを駆使したワークショップを実施しました。参加者は世界共通語である音楽を通して共に学び、お互いの強みを尊重し、自分の可能性を発掘しました。また才能に満ちたヤングアメリカンズのキャストとの交流を通して、自信を持ち、異なる言語や文化を学ぶ意欲を掻き立てられました。



TOMODACHI サントリー音楽奨学生

2014年から実施されている本奨学生プログラムは、米国有数の名門音楽大学であるジュリアード学院、パークリー音楽大学、サンフランシスコ音楽院における日本人学生の留学を支援するプログラムで、音楽の勉強を通して日米関係の強化を図っていきたいという熱意を持っている若手日本人音楽家の育成を目指しています。2017年11月にワシントンD.C.で開催された米日カウンシルのアニュアル・カンファレンスでは、選出された2名の奨学生が演奏を行いました。



「TOMODACHIプログラムを通して得ることが出来た音楽の力と感動の大きさは、今でもかけがえのない宝物です。そして米国のジャズの名門校での4年間は、音楽や演奏に対する考え方を大きく変える事が出来た貴重な時間でした。私の演奏家になる夢は、当プログラムへの参加無しでは叶える事が出来なかった人生の転機となりました。」

—— 熊谷駿、TOMODACHI サントリー音楽奨学生



「周りと同じでなくていい、
自分の道を突き進んで
よいのだと学びました。」



株式会社ファミリーマートと株式会社ローソンの多大なご支援によって設立されたTOMODACHIコンビニ基金は、東北地方の復興と次世代のリーダー育成を支えています。2017年には、「TOMODACHI女子高校生キャリアメンタリングプログラムin 福島 2017」を支援し、福島県内の高校2年女子生徒125名が、4つのセッションを通したキャリア教育プログラムに参加しました。本プログラムでは、参加者が将来に対する視野を広げ、未来を切り開く自信をつける機会を提供しています。それぞれのセッションでは、参加者が将来の夢を振り返る機会や、大学生や社会で活躍している女性が苦難を乗り越えた経験など、様々なお話を伺う機会を通して学びを深めていき、集大成として、後輩たちにそれぞれの学びを発表し、プログラムは幕を閉じました。

東北の若者に 活力を



TOMODACHI交流基金プログラムは、2012年4月に、トヨタ自動車株式会社、三菱商事株式会社、株式会社日立製作所の寛大なご支援により設立されました。本基金は、岩手、宮城、福島県の数多くの若者に、包括的で革新的な教育・文化交流プログラムに参加する機会を提供しています。2017年には7件のプログラムが実施され、東北と米国の若者の交流が促進されました。

また本基金設立から2017年12月までには、45件を超えるプログラムに、700名以上の若者が参加しました。プログラム終了後、アラムナイはそれぞれの地域やコミュニティーが直面しているニーズや課題に積極的に取り組み、貢献し、永続的で強固な関係を築くために、互いに影響を与え、刺激続けています。

2018年も引き続き東北に焦点を当てた、質の高い、インパクトのあるプログラムを通して、人生の転機となるような機会を参加者に提供します。

「TOMODACHIは、自分の信じることのためにきちんと声を上げること、困難があっても上を向き、決心を揺るがないようにすることなど、たくさんのこと教えてくれました。」

——スカイ・ジーニーズ、TOMODACHI米日ユース交流プログラム



2017年TOMODACHI交流基金プログラム

2017年シカゴ・多賀城市TOMODACHI交流プログラム | TOMODACHI ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム2017 | TOMODACHI FIRST プログラム | TOMODACHIサンディエゴ/ティファナ・大船渡 青少年野球交流プログラム2017 | 2017 TOMODACHI 南カリフォルニア・岩手 ユース文化交流プログラム | TOMODACHIテイラー・アンダーソン記念基金リサーチ交換プログラム | TOMODACHI米日ユース交流プログラム 2017

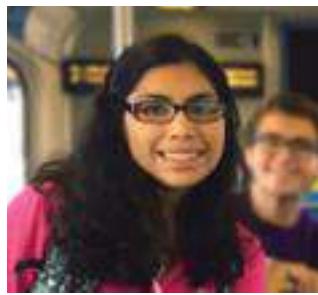


異文化で活躍する リーダーの育成

スポンサー や サポーター と 称される 協賛・支援企業・個人 から の 寄付 が、 教育交流 や リーダーシップ 育成 プログラム お よび スポーツ・音楽・芸術 など の 文化交流 プログラム ま で、 多岐 にわたる TOMODACHI プログラム を 支え て い ます。 2017 年 には 15 件 の 一般基金 プログラム が 実施 さ れ、 日米 各地 から 400 名 を超える 中学生 から 若手 社会人 の 次世代 を 担う 若者 が、 日米 両国 について 学んだ ほか、 リーダーシップ と ネットワーキング の スキル 向上 を 図る 機会 を 得ました。

「TOMODACHIを通じて、私は日米両国に友人を持つことができました。プログラムが安全な環境を提供してくれたおかげで、お互いに自由に交流することができました。TOMODACHIは、私が抱えている課題を克服すること、夢を実現するために、精神的にも社会的にも成長するという目標に一歩近づかせてくれました。」

—— タリア・ガルシア、TOMODACHIフォスター・リーダーシップ・プログラム



2017年一般基金プログラム

TOMODACHIブリッジング・スカラーズ・プログラム2017 | TOMODACHI CIE日米草の根交流サミット 奈良大会 | 2017 TOMODACHI-STEM @ Rice University Program | 第7回米国大使館・慶應湘南藤沢キャンパス(SFC)・TOMODACHIアントレプレナーシップ・セミナー | TOMODACHI グローバル・クラスメート | 第69回日米学生会議 | TOMODACHI 障がい当事者リーダー育成米国研修プログラム | TOMODACHI新生リーダープログラム | TOMODACHIフォスター・リーダーシップ・プログラム | TOMODACHI世代 グローバル・リーダーシップ・アカデミー2017 | TOMODACHIイノウエ・スカラーズプログラム | TOMODACHI NAJAS草の根交換プログラム—サンアントニオ・熊本 | TOMODACHI NAJAS草の根交換プログラム—コロラドスプリングス・富士吉田 | TOMODACHIソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム | TOMODACHI インターンシップ・プログラム

国境を越えたインパクト 活発なアラムナイ活動



TOMODACHIアラムナイ・プログラムは日米関係を担う次世代リーダーが、次のステージに向けて飛躍するための枠組みを提供しています。TOMODACHIの経験を基に展開されるこれらのプログラムは、日米の若者がさらに経験やスキル、自信を身に付けることで、インスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材と成長するように支援します。

2017年3月には、日本全国、アメリカ全土に広がるTOMODACHI世代の交流や繋がりを促進することを狙いとし、「TOMODACHI世代地域フレームワーク」が設立されました。本枠組みは、日本全国を7つの地域に分け、各地域に2名の大学、高校・高専生リーダーを選出し、若手社会人がメンター役を務め、運営されます。一年間の実践的なトレーニングの機会を通して、TOMODACHI世代は互いに

切磋琢磨し、共に成長し、地域のニーズや課題に沿った活動、イベントの企画・運営など様々なスキルを身に付けます。

2017年に開催された、アラムナイによる、アラムナイのための「TOMODACHI世代サミット」は、TOMODACHI世代の成長の証しです。270名を超えるアラムナイが一堂に会し、ワークショップ、各分野で活躍する社会人リーダーやアラムナイによるパネルディスカッション、多様な地域を紹介するエキスポ企画などに参加しました。

TOMODACHIイニシアチブが発足されてから、2017年12月までに、6,700名以上の若者が250件を超える多様なTOMODACHIプログラムに参加しました。またプルデンシャル財団の支援により、2017年には44件にのぼるTOMODACHIアラムナイ・プログラムが実施され、942名のアラムナイが参加しました。

「TOMODACHIアラムナイのコミュニティーは、私自身にやる気を起こさせたり、エンパワーしてくれるだけではなく、立ち止まり一息つける場所を与えてくれます。私は将来、人を元気づけ、サポートし、より良い世界を築くために、お互いに力を与えあえることのできるリーダーになりたいです。」

—— 岩渕 由佳、TOMODACHI ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム、
TOMODACHIアラムナイ地域フレームワーク 関東地域リーダー



TOMODACHIアラムナイ・プログラムの4つの柱

クリティカル & イノベーティブ・シンキング



既成概念に捉われない、時に批判的で革新的な考え方を学び、21世紀の成功と繁栄に不可欠な、優れた課題解決スキルを養います。

市民活動



TOMODACHIを通して得たグローバルな体験を地域社会に還元し、新たな知識、スキル、価値やモチベーションを創出して地域に貢献します。

社会に出る準備



メンタリングやアラムナイ同士の交流を通して、次世代のリーダーとして必要な知識やスキルを身に付ける機会を提供し、実力を備えたグローバル人材となるよう支援します。

つながりと継続性



TOMODACHI世代の一員として、アラムナイ同士が交流する中で、更にネットワークを拡大し、地域の一員として、そしてリーダーとして、人と人との繋がりを生かしていきます。

次世代の グローバルリーダー チェンジメーカー



TOMODACHI世代がプログラムの経験を基に、さらに知識を高め、スキルを磨き、ネットワークを拡大するために、ニーズに特化した、革新的なプログラムを提供しています。これらの機会を通して、アラムナイはそれぞれの地域で積極的に活動し、次世代のリーダーとして、社会に変化をもたらしていく可能性を見出します。

シグネチャー・プログラム

大規模なプログラムやイベント。アラムナイに複合的なスキル構築や、仲間やメンターとの交流の機会を提供します。

TOMODACHI世代サミット

東京にて実施された本サミットは、アラムナイが運営委員として企画・運営を担いました。270名を超えるアラムナイが一堂に会し、ワークショップ、各分野で活躍する社会人リーダーやアラムナイによるパネルディスカッション、多様な地域を紹介するエキスポ企画などが終日実施されました。

TOMODACHI U40 サミット

「グローバルコネクション・ローカルな視点」というテーマのもと、60名を超える若手社会人のアラムナイが、カリフォルニア州ロサンゼルス市に集結し、リスクを取ることの重要性やグローバルな変革へ向けた協働について議論しました。

米日カウンシル主催アニアル・カンファレンス:TOMODACHI ワークショップ

アラムナイ8名が「TOMODACHIによってもたらされた変化」と題したテーマのもと、リーダーシップ、女性のエンパワーメント、物語を語ること、コミュニティへの還元の重要性など、多岐にわたる経験を共有しました。

TOMODACHI世代地域フレームワーク(ウェルカム・イベント、テーマ・イベント)

1年間の実践的なトレーニングの機会を通じ、7つの地域を代表するTOMODACHIアラムナイ地域リーダーとメンターが、各地域の課題やニーズに取り組む「ウェルカム・イベント」と「テーマ・イベント」を企画・運営しました。

革新的プログラム

各地域やテーマに沿ったプログラム。特定の興味を持つ熱心なアラムナイに対し、革新的なプログラムを展開しています。

TOMODACHIアラムナイ災害復興トレーニング・プログラム

複数年にわたる本プログラムは、2日間のトレーニング・セッションを4度開催し、災害対策と準備、そして精神・社会的サポートの分野で実践的なスキルと理論的な知識を養いました。

TOMODACHI世代グローバル・リーダーシップ・アカデミー

東北で初開催となった3日間の集中プログラムは、東北地方出身の高校生と大学生のアラムナイを対象に、グローバルな視点を養い、各地域の抱える課題の解決に取り組みました。

TOMODACHIふくしま香LINKプログラム

香りの力を通して、福島のプランディングの再構築に取り組むプログラム。年間を通して複数回にわたり実施されました。特定の地域や出来事から生まれる感情に関連した独自の香りを創造することで、参加者は地域活性をはじめ、マーケティングやプランディング、プロジェクト管理、および香りの持つ、記憶や感情を呼び起こす力を学びました。

パートナーシップ活動

様々なネットワークと繋がり、情報に触れ、影響力のあるリーダーと交流する機会を提供します。

米日カウンシルジャパン主催ビジネスアドバイザリー・ボードミーティング | インディ500 レセプション | ウィリアム・F・ハガティ駐日米国大使主催 TOMODACHIレセプション | 東日本大震災より6年を迎えて:TOMODACHIレセプション | 在日米国大使館 文化・交流担当主催討論会 | 内堀雅雄福島県知事とのラウンドテーブル形式の意見交換会



実施運営パートナー



TOMODACHIではプログラム運営にあたり、パートナーとして多くの実施団体と協力して、次世代を担う若い世代に、人生の転機となるような機会を提供しています。2017年にはTOMODACHIの資金提供により、以下のパートナーがプログラムを実施しました。

アメリカン・カウンシルズ | パークリー音楽大学 | Children's National Medical Center | Cultural Vistas | ニューヨーク州立ファッショントーキー音楽大学 | iLEAP | 特定非営利活動法人International Foster Care Alliance (IFCA) | 国際学生会議 | 公益社団法人日本国際生活体験協会 (EIL) | 一般財団法人日本国際協力センター | NPO法人じぶん未来クラブ | 公益財団法人万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター (CIE) | ジュリアード学院 | 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス (SFC) | Kizuna Across Cultures | ローラシアン協会 | ルミナラーニング | 全米日米協会連合 | 一般社団法人東京ニュービジネス協議会 | 認定NPO法人底上げ | パーソンズ・スクール・オブ・デザイン | 一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター | ライス大学 | 一般社団法人RCF | サンフランシスコ音楽院 | スタンフォード大学ビジネススクール | 一般社団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション | テイラー・アンダーソン記念基金 | テンプル大学 | 日米交流財団 | カリフォルニア大学バークレー校 | マサチューセッツ大学ボストン校 | ワシントンセンター | 一般社団法人WIT(World in Tohoku)

米日カウンシル(U.S.)および米日カウンシルジャパン



米日カウンシル(U.S.)および米日カウンシルジャパンは、在日米国大使館と協力し、官民パートナーシップであるTOMODACHIイニシアチブを管理・運営します。プログラムの開発と管理、コミュニケーションと普及活動、マーケティング、活動資金調達、寄付者との折衝などを主な活動としています。米日カウンシル(U.S.)は、ワシントンD.C.に本部を置く501(c)(3)非営利非課税組織で、日米のあらゆる世代の人と人をつなぐ活動をする団体です。米日カウンシルジャパンは、東京で設立された公益財団法人です。米日カウンシルジャパンと米日カウンシル(U.S.)は別組織で、それぞれ独立した理事会によって運営されますが、双方が緊密に協力してTOMODACHIを運営しています。

米日カウンシルジャパン 理事会

(2017年12月末日現在)

アーネスト・エム・比嘉 代表理事
ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼社長、
株式会社ジェーシー・コムサ 取締役
株式会社新生銀行 取締役

アイリーン・ヒラノ・イノウエ 代表理事
米日カウンシル 会長

デービッド 西田 執行理事

片山 隆一 監事

トッド・ガイルド

マッキンゼー・アンド・カンパニー シニアアドバイザー

川原 K. ラッセル

渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー

スタン・コヤナギ

オリックス株式会社 取締役 兼 常務執行役 ERM 担当
グローバルジェネラルカウンセル

米日カウンシルジャパン 評議員会

(2017年12月末日現在)

キャシー 松井 会長
ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長

ローヤン・トイ
ブルデンシャル・フィナンシャル・インク
(日本駐在員事務所)国際保険部門
チーフ・コンプライアンス・オフィサー

藤井 ダニエル 一範
トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長

ウィリアム・ジーザス・アイアトン
アイアトン・エンターテイメント 代表取締役

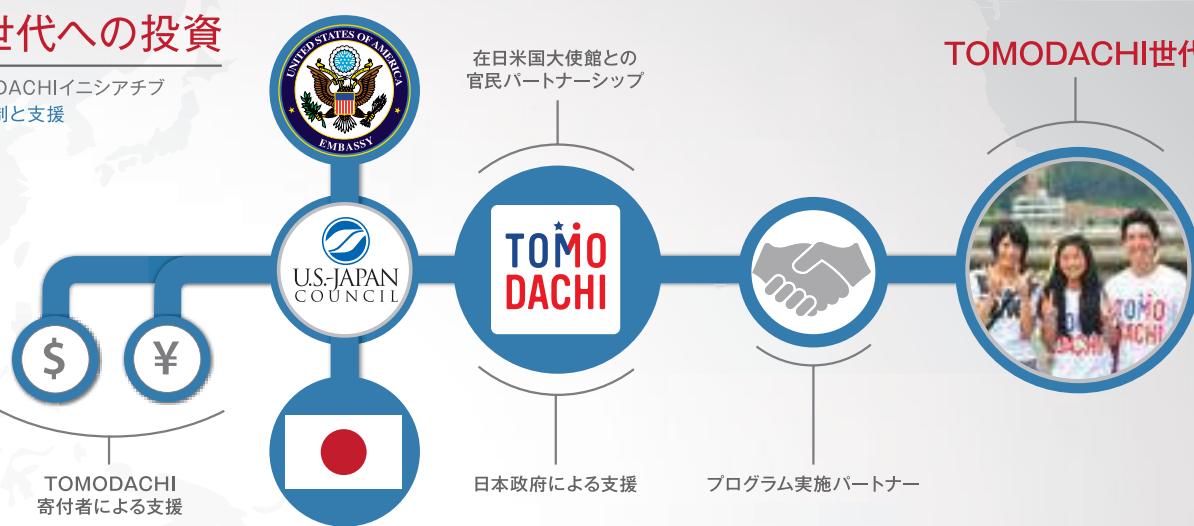
高田 ヘンリー 聖一
シンテックジャパン株式会社 代表取締役

次世代への投資

TOMODACHIイニシアチブ
組織体制と支援

在日米国大使館との
官民パートナーシップ

TOMODACHI世代



TOMODACHI決算概要

以下の財務報告書は、TOMODACHIイニシアチブ設立以降の米日カウンシルジャパンおよび米日カウンシル(U.S.)の要約された財務報告書です。米日カウンシルジャパンの監査済み財務諸表はwww.tomodachi.org/ja、また米日カウンシル(U.S.)の監査済み財務諸表はwww.usjapanccouncil.orgに掲載されています。

米日カウンシル(連結)

TOMODACHI 累積寄付額と支出(各年)(USD)	2011-2016	2017	2018-21 (暫約済み)	合計
TOMODACHI への寄付金及び誓約寄付金				
米日カウンシルジャパン	\$22,466,775	\$3,217,048	\$3,121,648	\$28,805,471
米日カウンシル(U.S.)	16,394,648	1,625,336	3,262,042	21,282,026
現物寄付(U.S. およびジャパン)	3,800,464	518,250	2,000,000 ¹	6,318,714
寄付金及び誓約寄付金合計	\$42,661,887	\$5,360,634	\$8,383,690	\$56,406,211
TOMODACHIに係わる経費				
米日カウンシルジャパン	\$16,786,058	\$3,583,291	\$2,809,483 ²	\$23,178,832
米日カウンシル(U.S.)	13,022,659	1,967,912	2,935,838 ²	17,926,409
プログラム及びプログラム支援の経費一括払済み/未払い金	\$29,808,717	\$5,551,203	\$5,745,321	\$41,105,241
米日カウンシルジャパン	\$909,461	\$335,239	\$312,165 ²	\$1,556,864
米日カウンシル(U.S.)	785,825	218,657	326,204 ²	1,330,686
管理と資金調達合計	\$1,695,286	\$553,896	\$638,369	\$2,887,551
現物寄付(U.S. およびジャパン)	3,800,464	518,250	2,000,000 ¹	6,318,714
経費合計	\$35,304,467	\$6,623,349	\$8,383,690	\$50,311,506

米日カウンシル(U.S.)

TOMODACHI 財政状況一要約(USD)	2017	2016
流動財産		
現金預金	\$2,685,629	\$3,073,527
未収金	506,276	608,708
その他の流動財産	-	-
無形資産-商標	2,335	2,335
財産合計	\$3,194,240	\$3,684,570
負債		
未払金	\$51,620	\$3,758
その他の流動負債	-	-
正味財産	\$3,142,620	\$3,680,812
負債及び正味財産合計	\$3,194,240	\$3,684,570

収支要約	2017	2016
収入		
企業からのTOMODACHI寄付金	\$1,450,960	\$2,249,540
特定資産受取利息、その他の収入	174,376	114,716
収入合計	\$1,625,336	\$2,364,256
支出		
プログラム及びプログラム支援	\$1,967,912	\$1,982,257
管理と資金調達	218,657	140,453
プログラム経費合計	\$2,186,569	\$2,122,710
為替損益	23,041	23,078
正味財産の変動額 ³	(538,192)	264,624
期首の正味財産	3,680,812	3,416,188
期末の正味財産	\$3,142,620	\$3,680,812

米日カウンシルジャパン

TOMODACHI 財政状況一要約(USD)	2017	2016
流動財産		
現金預金	\$3,366,521	\$4,058,173
未収金	-	-
その他の流動財産	4,902	5,590
正味固定財産	26,646	5,048
財産合計	\$3,398,069	\$4,068,811
負債		
未払金	\$541,028	\$492,448
その他の流動負債	27,333	44,525
正味財産	\$2,829,709	\$3,531,837
負債及び正味財産合計	\$3,398,069	\$4,068,810

収支要約	2017	2016
収入		
企業からのTOMODACHI寄付金	\$3,133,691	\$4,773,631
特定資産受取利息、その他の収入	83,357	887
収入合計	\$3,217,048	\$4,774,518
支出		
プログラム及びプログラム支援	\$3,583,291	\$4,468,846
管理と資金調達	335,239	271,512
プログラム経費合計	\$3,918,530	\$4,740,358
為替損益	-646	-41,172
正味財産の変動額 ³	(702,128)	(7,012)
期首の正味財産	3,531,837	3,538,849
期末の正味財産	\$2,829,709	\$3,531,837

1. 契約期間内の現物寄付に値する額。

2. 2018-2021年のプログラム及びプログラム経費管理費、資金調達とその経費管理費の見積額。

3. 純財産変動額は、寄付額と特定期間の支出額のみを反映しています。純財産のマイナス変動は、現金持高や寄付額と支出額のバランスがマイナスであることを示すものではありません。寄付の受領と支出発生の記録時期により、どの年度でも純資産変動額総額がプラスやマイナスの変動となる場合があります。

感謝を込めて

ファウンディング・ストラテジック・パートナー

(2012年創立当初より\$1,000,000以上)



Mitsubishi Corporation



SoftBank Group



TOYOTA



ストラテジック・パートナー

(\$1,000,000以上)



Goldman Sachs



J.P.Morgan

LAWSON



Morgan Stanley



◆ Sumitomo Corporation

SUNTORY

協賛者/協賛企業

(\$100,000から\$1,000,000)



Bank of America Merrill Lynch

BOEING



EVOLUTION FINANCIAL GROUP

HITACHI
Inspire the Next



kikkoman[®]

MIZUHO
Mizuho Financial Group

NORTHROP GRUMMAN

Panasonic

PASONA

SMBC
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

Innovation for Wellbeing
SOMPO HOLDINGS

支援者/支援企業

(\$10,000から\$100,000)

アフラック・インターナショナル・
インコーポレーテッド

Air Aroma Japan株式会社

アークヒルズクラブ

渥美坂井法律事務所・外国法共同事業

エクソンモービル・ジャパングループ

早坂毅税理士事務所

株式会社ホテルオークラ東京

株式会社帝国ホテル

公益財団法人公益法人協会

KPMGジャパン

オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフ
外国法事務弁護士事務所

東京海上日動火災保険株式会社

凸版印刷株式会社

トライコ一株式会社

YKK株式会社

TOMODACHI運営基盤へのご支援

次世代リーダーを育成するTOMODACHIイニシアチブの使命に共感し、その運営と組織基盤強化のためにご支援くださるパートナー企業の皆さまに、心より感謝申し上げます。



武田薬品工業株式会社より、TOMODACHIイニシアチブの運営・管理面の強化のためのご寄付をいただいています。組織が効率的にそのミッションを達成するためには、専任スタッフと十分なリソースが必要です。武田薬品工業株式会社からの多額の寄付金により、参加者の人生を変えるようなプログラムを開発し、TOMODACHI世代を育成し、強固で永続的な日米関係構築に取り組むことが可能となっています。



Evolution Financial Groupより、2015年春からニューオータニガーデンコート内に、米日カウンシルージャパンとTOMODACHIイニシアチブのオフィスおよび会議スペースをご提供いただいている。機能的で利便性の高いオフィスで安定したプログラム運営が実現し、TOMODACHIイニシアチブの使命を追求できることに深く感謝します。

高まるTOMODACHIの広がり

さまざまな形でTOMODACHIの知名度を高め、幅広くご周知いただいております、数多くの企業の皆さんに厚く御礼申し上げます。



TOMODACHIロゴを機体にデザインした全日空機



羽田空港内の各所に設置されたTOMODACHIの看板

A photograph of three young women of diverse ethnicities hugging each other outdoors. They are all wearing bright red hoodies. The woman on the left has long dark hair and is smiling broadly. The woman in the center has long dark hair tied back and is also smiling. The woman on the right has long light brown hair and is wearing glasses, smiling warmly at the camera. The background is a soft-focus outdoor setting with trees.

TOMO
DACHI



@TOMODACHI



@USJapanTOMODACHI



@USJapanTOMODACHI



@tomodachi_initiative

tomodachi.org/ja